

V160307

チョットきてコール

(送信機)

【型 式 : TCⅢ-S】

取扱説明書

目次

■	目次.....	2
■	はじめに.....	3
■	注意事項.....	4
□	使用上の注意 □.....	4
□	電波法に関する注意事項 □.....	4
□	故障とアフターサービス □.....	4
■	各部の名称及び外観.....	5
□	各部の名称 □.....	5
■	動作モード.....	6
□	単発発信モード／連続発信モード □.....	6
□	緊急発報モード □.....	6
□	中継機経由モード □.....	6
□	全周波数使用可モード □.....	6
□	送信電文ショートモード □.....	7
□	外部スイッチ (E X O 4) 連続発信モード □.....	7
■	電池交換.....	8
□	電池交換時期 □.....	8
□	電池交換方法 □.....	8
■	設定.....	9
□	チャンネル設定 □.....	9
□	送信周波数チャンネル設定 □.....	10
□	動作モード設定 □.....	11
■	オプション.....	12
□	S Wボックス □.....	12
□	外部センサ □.....	14
■	故障かな？と思ったら.....	15
■	仕様.....	16
□	外観図 □.....	16
□	仕様一覧 □.....	16

■ はじめに

本システムは、店舗などでお客様からの呼び出しを無線を利用して行うものです。

店舗内の切り売りコーナーなど、店員がお客様と接する機会が多い場所などに呼び出し用の送信機を設置していただきます。

お客様が本送信機の「呼出ボタン」を押されると、無線を通じて事務所等に設置された受信機に知らされます。

受信機は信号を受け取ると、呼び出された場所に送信機の番号を液晶表示器に表示し、呼び出された事を事務所内にいる人に知らせます。

また、受信機には音声出力端子を設けていますので、店内放送設備などの外部入力端子へ繋ぐ事により店内へ呼び出しのアナウンスを流す事ができます。

以下に、本システム導入による効果と特徴を記します。

- ・ お客様の呼び出しに、迅速に対応する事が可能になるのでお客様をお待たせしません。
- ・ お客様をお待たせしないので、他店との差別化になります。
- ・ 売り場に常駐する必要がありませんので、人手を削減する事ができます。
- ・ 無線を利用していますので、送信機と受信機の間配線が不要です。
- ・ 配線が不要ですので、送信機の移動などレイアウトに幅が広がります。
- ・ 特定小電力無線を使用していますので、免許が不要です。
- ・ 見通しの良い場所ならば、約100mまで使用できます。
- ・ 受信機1台に対し、最大99CH（台数制限なし）の送信機の増設が可能です。

■ 注意事項

□ 使用上の注意 □

- 本製品を使用したことによって生じた、いかなる二次的損害に対しても一切の責任は負いません。
- 電波障害や故障等で連絡できなく被害が発生いたしましても、賠償責任は負いませんのでご了承ください。
- 本製品を当社指定修理技術者以外が分解、修理、改造することは絶対に行わないで下さい。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 本製品は防爆型ではありません。
- 本製品は防水仕様ではありませんので、雨、雪のあたる場所での使用は避けてください。また、結露させないで下さい。
- 酸、アルカリ、有機溶剤、腐食性ガス等の影響を受ける環境では使用しないでください。
- 定められた電圧で使用して下さい。使用範囲外の電圧で使用すると、故障の原因になります。
- 長期間使用しない場合は電池を取り外してください。電池を入れたままにしておきますと、電池から液漏れする場合があります、故障の原因になります。
- 電池の逆接続にご注意ください。一瞬でも逆に接続してしまうと内部回路を破損してしまう恐れがあります。よく確認してから接続してください。
- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。汚れがひどい時は、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。ベンジン、シンナーなどは使用しないで下さい。
- ご使用の前には「取扱説明書」を全て読み終わり熟知した後、ご使用ください。

□ 電波法に関する注意事項 □

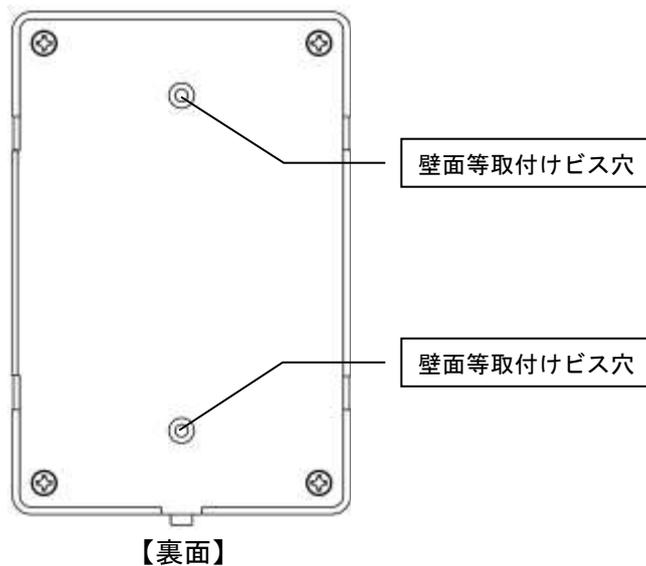
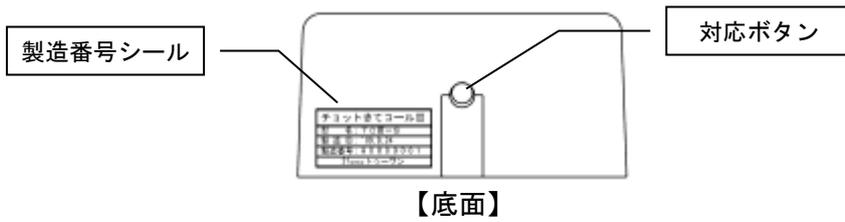
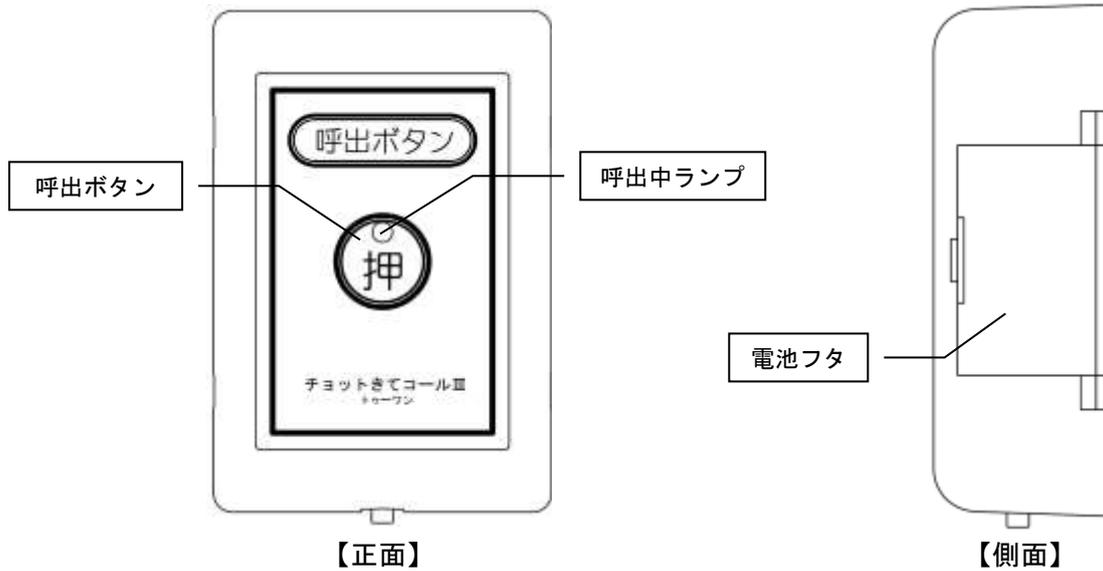
- 無線ユニットの分解、改造はしないで下さい。分解、改造は法律で禁止されています。
- 無線ユニットの技術基準適合証明ラベルは、剥がさないで下さい。ラベルの無いものは使用が禁止されています。
- この製品は、外国の電波法には準じておりません。日本国内で使用して下さい。

□ 故障とアフターサービス □

- 本製品の無償修理保証期間は、お買い上げの日から1年間といたします。修理の際は、故障の内容や状況をなるべく詳しくお知らせください。

■ 各部の名称及び外観

□ 各部の名称 □



■ 動作モード

ここでは送信機で設定可能な動作モードの説明をします。

動作モードの設定は、本取扱説明書内「動作モード設定」の項を参照してください。

□ 単発発信モード／連続発信モード □

一度だけ呼び出す「単発発信モード」と繰り返し呼び出す「連続発信モード」があります。送信機を設置する箇所の使い方によって、設定してください。

（設定方法は、本取扱説明書内「動作モード設定」の項を参照してください）

「単発モード」・・・呼出ボタンを押すと、一度だけ呼び出しを行います。

「連続モード」・・・呼出ボタンを押すと、次に対応ボタンを押すまで呼び出しを繰り返します。呼び出しを繰り返している間、呼出ボタンが点滅しています。

□ 緊急発報モード □

「緊急発報モード」に設定しますと、他のメッセージを再生中でも割り込んで呼び出しメッセージを放送することができるモードです。

セキュリティ用途などの最優先で呼び出したい箇所に設置する場合に、このモードに設定してください。

（設定方法は、本取扱説明書内「動作モード設定」の項を参照してください）

□ 中継機経由モード □

本送信機は受信機までの距離が長い場合、中間地点に中継機（レピータ）を設置することにより、通信距離を伸ばすことができます。

この中継機を経由して使用する場合に、モードを「中継機経由する」に設定してください。

（設定方法は、本取扱説明書内「動作モード設定」の項を参照してください）

□ 全周波数使用可モード □

本送信機は通常4種類の周波数が使用できますが、モードを「全周波数使用可」に設定すると受信機・レピータと同様に全周波数（全10波）の使用が可能になります。

（設定方法は、本取扱説明書内「動作モード設定」の項を参照してください）

□ 送信電文ショートモード □

送信機が送信する電文の長さを変更することができます。

通信エラーが頻発する場合に、このモードを使用すると通信エラーが改善する場合がありますので、通信エラーが発生しやすい箇所に設置する場合はお試しください。

(設定方法は、本取扱説明書内「動作モード設定」の項を参照してください)

□ 外部スイッチ (EX04) 連続発信モード □

通常送信機に増設した外部スイッチ「EX04」は単発モードしか使用できないが、このモードを使用すると連続発信で使用する事が可能になります。

(設定方法は、本取扱説明書内「動作モード設定」の項を参照してください)

■ 電池交換

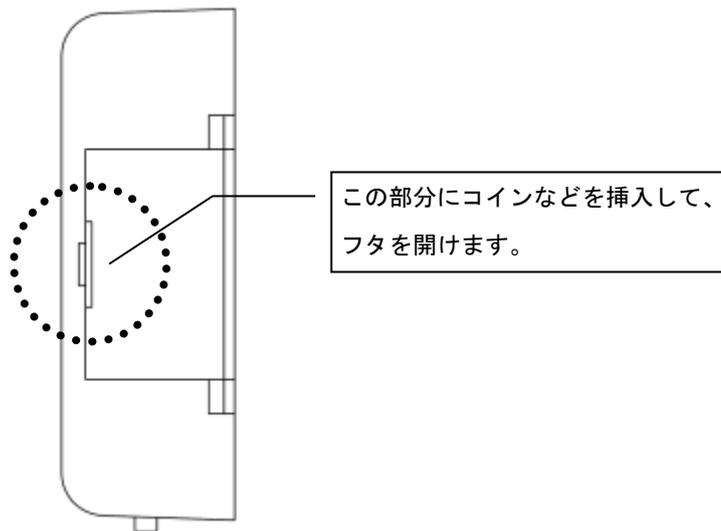
□ 電池交換時期 □

送信機の「呼出ボタン」を押したときに、通常ですと 0.5 秒間隔で呼出中ランプが単滅しますが、送信機の電池が消耗しますと呼出中ランプが高速点滅します。呼出中ランプが高速点滅し始めてもしばらくは使用可能ですが、できるだけ早い時期に電池を交換してください。

（電池残量警告=DC6.5V 以下）

□ 電池交換方法 □

1. 電池のフタをコインなどを使用して開けます。



2. 電池を引っ張り出し、電池スナップから古くなった乾電池を取り外します。
この時、電池スナップのリード線を強く引っ張るとリード線が切れる恐れがありますので、ご注意ください。
3. 先ほど古い乾電池を取り外した電池スナップに、新しい乾電池を取り付けます。
この時、乾電池の極性に注意してください。+/-を逆に接続しますと、本体が破損する恐れがありますので注意して作業してください。

- 使用する乾電池は、006P型アルカリ乾電池(DC9V)です。
- アルカリ乾電池以外は使用しないでください。
- ニッカド電池・ニッケル水素電池等の充電式電池は使用できません。

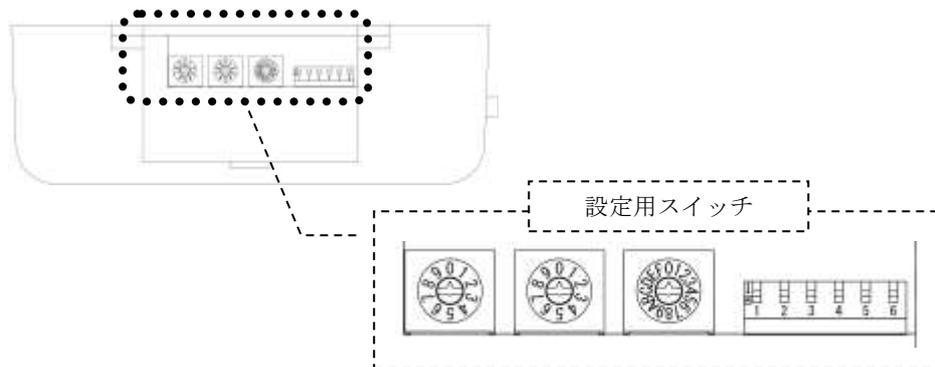
4. 電線などがはさまっていない事を確認しながら、電池のフタを装着してください。
5. 以上の手順で、電池交換は完了です。

■ 設定

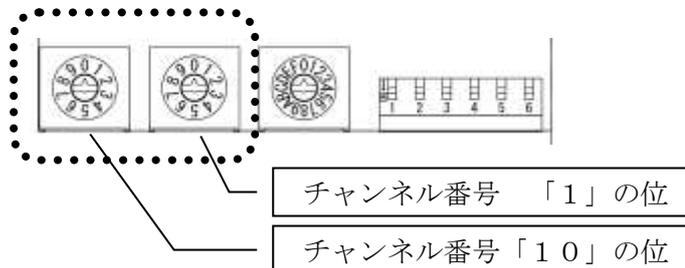
□ チャンネル設定 □

設定できるチャンネル番号は「01」～「99」です。

1. 電池のフタをコインなどを使用して開けます。
2. フタを外して電池をよけると、設定用のスイッチが見えます。



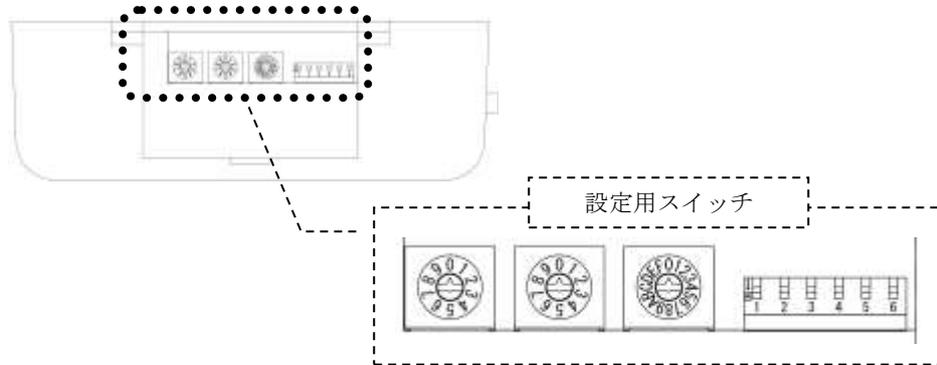
3. 先の細いマイナスドライバを使用して、チャンネル番号を設定します。
設定を変更する際は、先の細いマイナスドライバを使用して、確実に「カチッ」と感触があるところに設定してください。「カチッ」と感触の無い位置に設定してしまうと数値と数値の間に設定されてしまい、不定のチャンネルに設定される可能性があります。



4. 電線などがはさまっていない事を確認しながら、電池のフタを装着してください。

□ 送信周波数チャンネル設定 □

1. 電池のフタをコインなどを使用して開けます。
2. フタを外して電池をよけると、設定用のスイッチが見えます。



3. 先の細いマイナスドライバを使用して、チャンネル番号を設定します。
設定を変更する際は、先の細いマイナスドライバを使用して、確実に「カチッ」と感触があるところに設定してください。「カチッ」と感触の無い位置に設定してしまうと数値と数値の間に設定されてしまい、不定の送信周波数チャンネルに設定される可能性があります。

「全周波数使用可モード」送信機周波数設定

送信周波数設定 スイッチ	周波数 (MHz)	受信機側 周波数 設定値
0	426.0250	0
1	426.0250	1
2	426.0250	2
3	426.0250	3
4	426.06250	4
5	426.06250	5
6	426.06250	6
7	426.06250	7
8	426.08750	8
9	426.08750	9
A	—	—
B	—	—
C	—	—
D	—	—
E	—	—
F	—	—

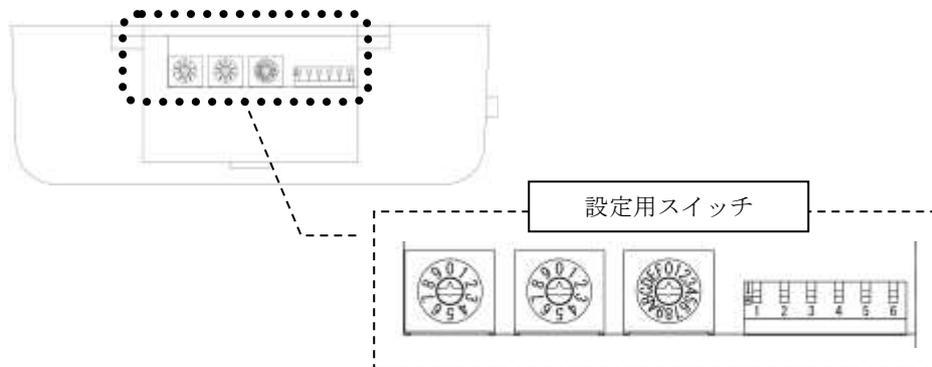
「全周波数使用不可モード」送信機周波数設定

送信周波数設定 スイッチ	周波数 (MHz)	受信機側 周波数 設定値
0	426.03750	1
1		
2		
3	426.06250	3
4		
5		
6		
7	426.08750	5
8		
9		
A	426.11250	7
B		
C		
D		
E		
F		

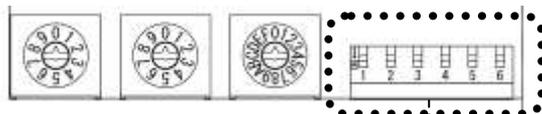
4. 電線などがはさまっていない事を確認しながら、電池のフタを装着してください。

□ 動作モード設定 □

1. 電池のフタをコインなどを使用して開けます。
2. フタを外して電池をよけると、設定用のスイッチが見えます。



3. 先の細いマイナスドライバを使用して、チャンネル番号を設定します。



スイッチ	機能	
	OFF	ON
1	単発発信	連続発信
2	通常発報	緊急発報
3	中継機経由しない	中継機経由する
4	全周波数使用不可 (現在未使用:ON固定)	全周波数使用可
5	電文通常 (現在未使用:ON固定)	電文ショート
6	外部スイッチ単発発信	外部スイッチ連続発信

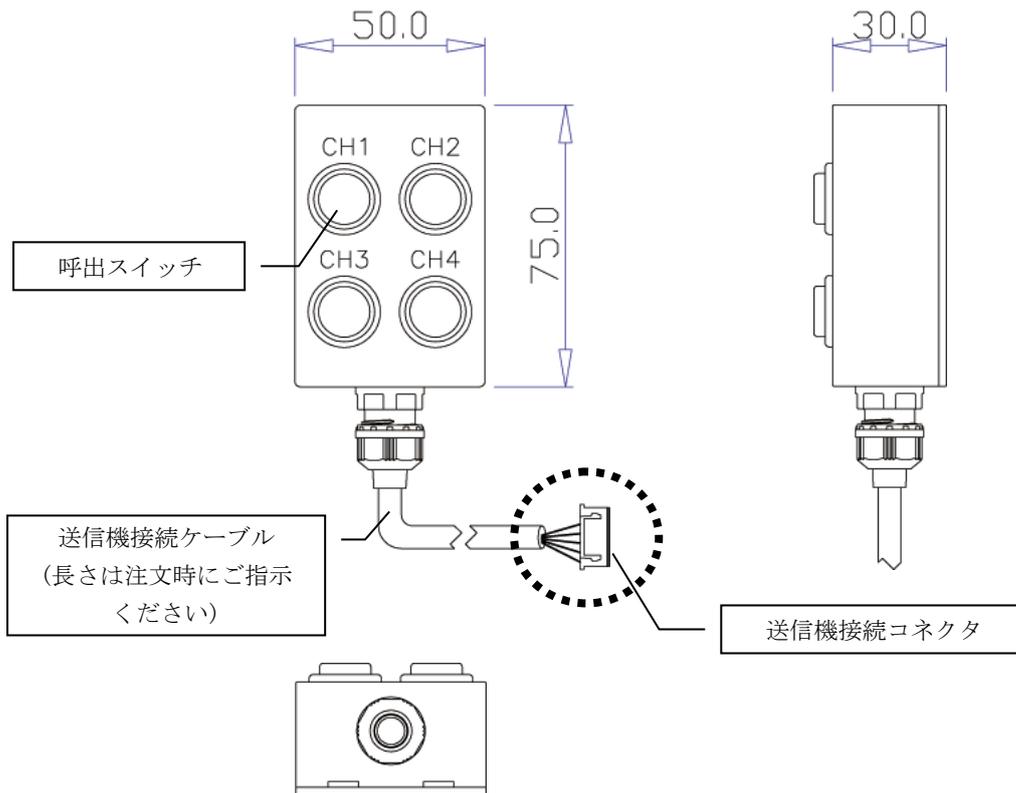
4. 電線などがはさまっていない事を確認しながら、電池のフタを装着してください。

■ オプション

□ SWボックス □

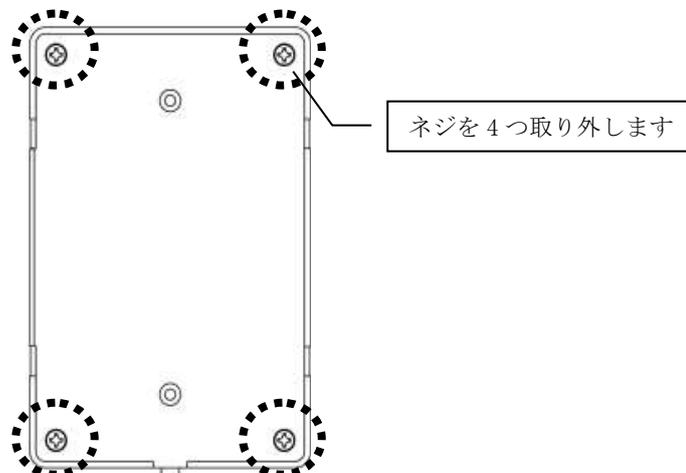
送信機には、外部にオプションにて「TCⅢ-S-EX04」SWボックスを接続することが可能です。
本SWボックスを接続しますと、接続した送信機のメッセージに加え、4つのメッセージを流すことができるようになります。

◆ 外観図

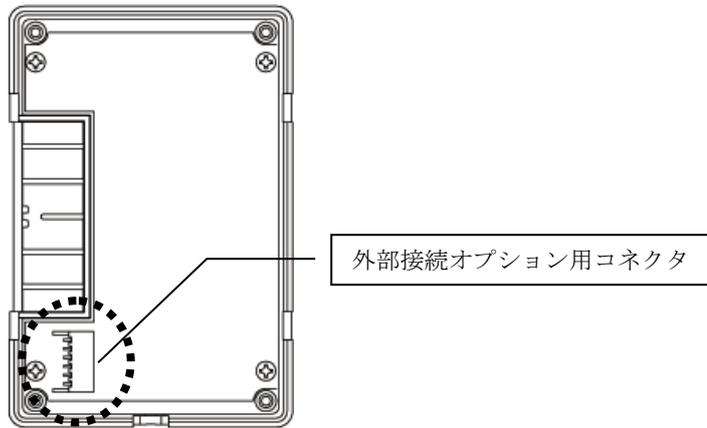


◆ 接続方法

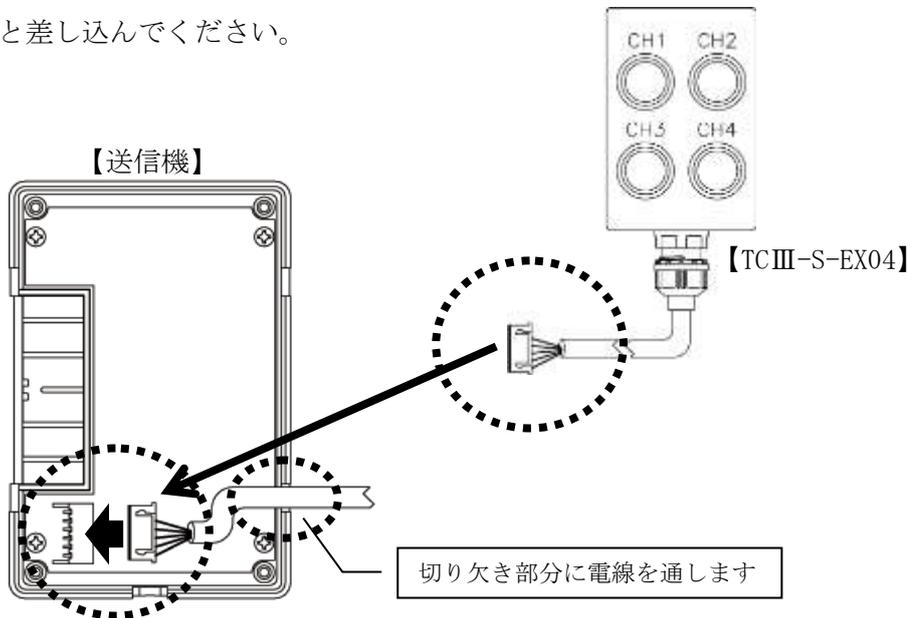
- ① 送信機の裏ブタを外します。



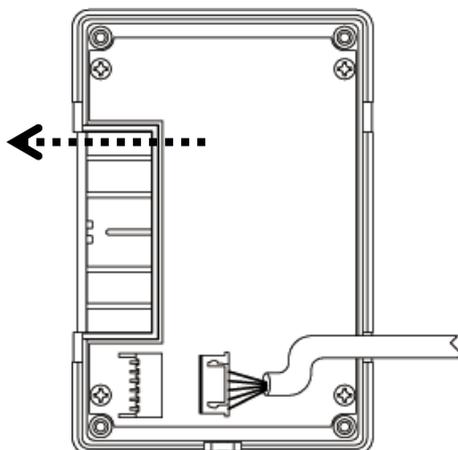
- ② 裏ボタンを取り除くと、基板が見えます。基板上の外部接続オプション用のコネクタを確認してください。



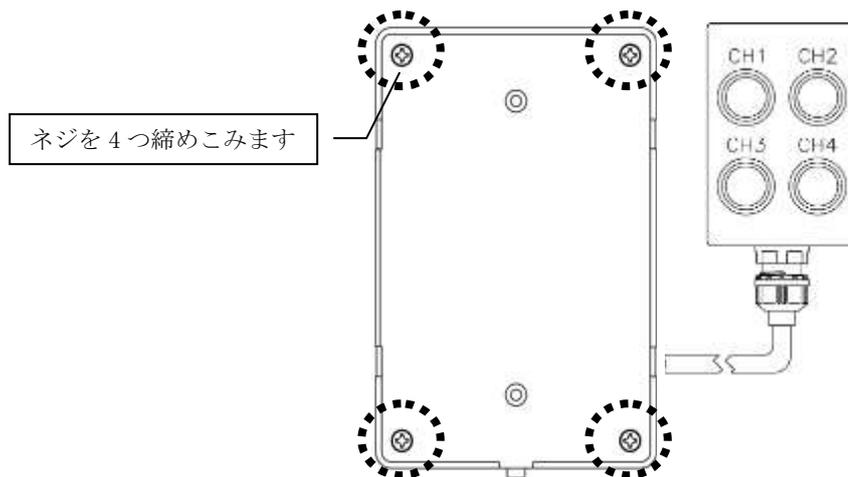
- ③ 「TCⅢ-S-EX04」 SWボックスのケーブル先端についているコネクタを、基板上のコネクタへしっかりと差し込んでください。



- ④ バラしたときと逆の手順で組み立てます。この際電池スナップの電線を通す位置に気をつけてください。下記図の矢印の位置から電線を引き出して下さい。電線が挟まっていない事を確認しながら、送信機の裏ボタンを閉めます。



- ⑤ 再度電線が挟まっていないことを確認しましたら、裏ブタのネジを4箇所閉めてください。



- ⑥ 動作確認をして、作業は完了です。

□ 外部センサ □

送信機には、外部にオプションにて各種センサを接続することが可能です。

例えば万引き防止ゲートや万引き防止タグなど、外部接点出力を持つ機種であれば各種様々なセンサ類と接続することが可能です。

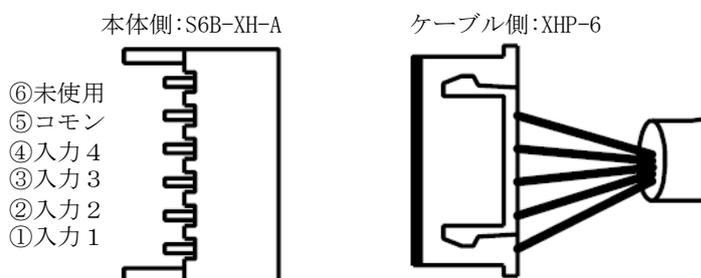
これらの外部センサを送信機に接続することにより、センサが反応した際にタイムラグ無しで放送設備より店員に知らせることが可能になります。

◆ 接続仕様

接続可能な外部センサは「無電圧接点」出力を持つセンサです。それ以外の仕様のもを接続しますと破損しますのでご注意ください。

接続に使用するコネクタは、日本圧着端子製造株式会社製「XHP-6」です。

(本体側に使用しているコネクタは日本圧着端子製造株式会社製「S6B-XH-A」です)

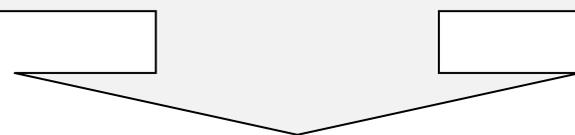


■ 故障かな？と思ったら

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、代理店などにご相談になる前に、下記の流れに沿ってチェックしてみてください。

1 本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」にて、該当する項目をチェックしてください。



2 それでも解決しないときは

お買い上げ店にご相談ください。ご相談になる場合は、なるべく詳しいトラブル内容をお伝えいただけますようお願いいたします。

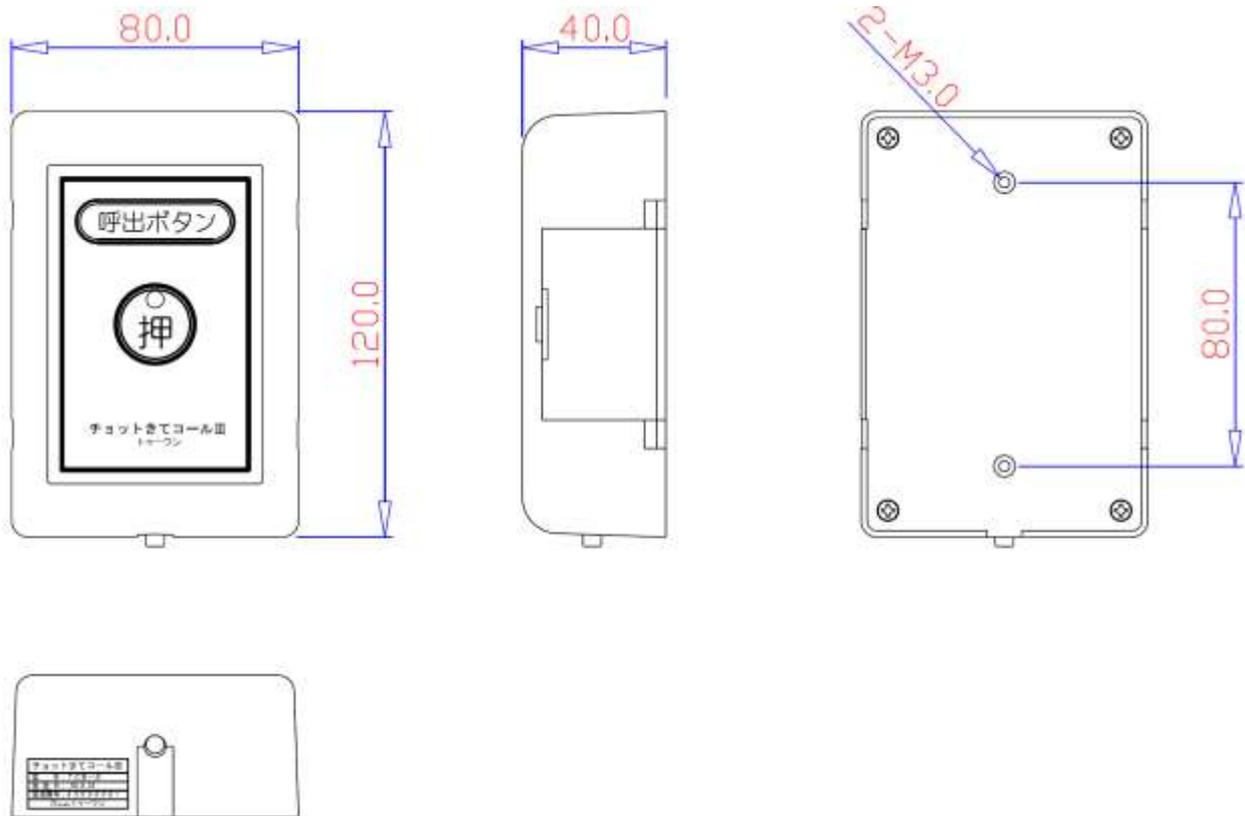


Q&A（よくある質問と回答）

このようなとき	対処のしかた
送信機で呼出スイッチを押したがメッセージが流れない	<ul style="list-style-type: none"> ・呼出ボタンを押した時、ランプが0.5秒間隔で点滅するか確認する。（ランプが高速点滅している場合やまったくランプが点かない場合は電池の残量が不足しているため、電池を交換する。） ・チャンネル設定の確認をする。 ・送信周波数チャンネル設定の確認をする。
送信機で対応スイッチを押したがメッセージが流れない	<ul style="list-style-type: none"> ・対応ボタンを押した時、ランプが約0.5秒点灯してすぐに消灯するか確認する。（ランプが数回高速点滅している場合やまったくランプが点かない場合は電池の残量が不足しているため、電池を交換する。） ・動作モードの設定を確認する。（スイッチの1番が「単発発信」に設定されている場合は対応スイッチは無効となる） ・チャンネル設定の確認をする。 ・送信周波数チャンネル設定の確認をする。
送信機で呼出・対応スイッチを押したときに違うメッセージが流れる	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンネル設定の確認をする。

■ 仕様

□ 外観図 □



□ 仕様一覧 □

型式	TCⅢ-S
定格電圧	DC9V (006P 型アルカリ乾電池×1)
電池寿命	約 1 年 (使用環境・使用回数により異なります)
送信周波数	426.0250MHz~426.1375MHz の 10 波 (スイッチにて設定)
アンテナ	内蔵式
送信出力	1mW
チャンネル番号	1~99 (スイッチにて設定)
外部スイッチ	送信機 1 台当り 4 スイッチ (有線接続による)
使用環境	屋内専用
動作周囲温度	0℃~+40℃ (RH85%以下 結露なきこと)
外形寸法	高さ 120×幅 80×奥行 40mm
質量	約 170 g (乾電池を含む)

※仕様・デザイン等は改良のため予告なく変更することがあります。